

みなさんこんにちは!

新任医師の紹介をします



中尾 紘一
(なかお こういち) 39歳
【担当科】神経内科
【出身大学】自治医科大学
【趣味・特技】ドライブ・旅行

【自己PR】 5年ぶりに宮崎県に戻ってきました。5年前までは宮崎県の僻地や県病院でも勤務していました。また新たな気持ちで宮崎県の医療に貢献していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

みなさんこんにちは!

新任医師の紹介をします



川添 琢磨
(かわそえ たくま) 40歳
【担当科】脳神経外科
【出身大学】鹿児島大学
【趣味・特技】スキー、旅行、サッカー観戦

【自己PR】 県内各地で脳卒中、脊椎疾患を中心に勉強してきました。こちらに赴任する前の半年は宮大救急部に所属しドクヘリの経験などもしてきました。脳血管内治療専門医でもあり脳卒中の急性期治療で貢献できればと考えています。また、ここではより多くの脊椎疾患とも向き合えそうですので更に勉強せねばと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

みなさんこんにちは!

新任医師の紹介をします



小宮山 敬祐
(こみやまけいすけ) 31歳
【担当科】整形外科
【出身大学】長崎大学
【趣味・特技】ドライブ・旅行

【自己PR】 外傷診療を中心に地域医療に貢献できるような一生懸命頑張ります。宜しくお願い致します。

みなさんこんにちは!

新任医師の紹介をします



迫田 直也
(さこだ なおや) 34歳
【担当科】内科
【出身大学】佐賀医科大学
【趣味・特技】育児(4・2・0歳と奮闘中)

【自己PR】 延岡で生まれ育ち、16年ぶりに宮崎に帰ってきました。まずは、宮崎弁を取り戻すよう頑張ります。

患者の皆様の権利に関する宣言

当院では、患者の皆様の尊厳や人間性が尊重され、パートナーシップを強化し、以下の権利が守られることを宣言します。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 良質の医療を受ける権利 2. 選択の自由の権利 3. 自己決定権 4. 意思に反する処置 5. 情報に関する権利 6. 守秘に関する権利 7. 尊厳を得る権利 | <p>患者の皆様は、差別されることなく適切な医療を受ける権利を有します。</p> <p>患者の皆様は、医師や病院或いは保健サービス施設を自由に選択し、変更することができます。また、いかなる段階においても別の医師の意見を求める権利を有します。</p> <p>患者の皆様は、自分自身に関わる自由な決定を行う権利を有し、それに必要な情報を得る権利を有します。</p> <p>患者の皆様は、意思に反する診断上の処置或いは治療は、原則的に行いません。</p> <p>患者の皆様は、医療上の自己の情報を得る権利を有します。また、知られずにおく権利と自分に代わって自己の情報の提供を受ける人を選択する権利も有します。</p> <p>診療の過程で得られた患者の皆様の個人情報、全て保護されます。</p> <p>患者の皆様は、いかなる状態にあっても人格的に扱われ、尊厳をもってその生を全うする権利を有します。</p> |
|--|---|

潤和会記念病院 院長 鶴田 和仁

おとがき

「雨」
今年も梅雨時期がやってきました。みなさんは梅雨と聞いて何を連想しますか？
ジメジメして嫌い、洗濯物が乾かない、外出が億劫になるなどマイナスのイメージをお持ちの方も多々おられるのではないかと思います。
そんな雨ですが、雨音には実は心を癒す効果があるようです。自然のリズムには「i/fのゆらぎ(エフぶんのいちのゆらぎ)」というリズムがあります。調べてみると「i/fのゆらぎ」とは、規則正しさと不規則さがちょうどよいバランスで調和したパターンを言うようです。音楽でいうと、規則正しい音とランダムで規則性がない音との中間の音のことで、人に快感やヒーリング効果を与えると言われていています。川のせせらぎや波の音、電車の揺れなどがそうですね。が、人の鼓動もこの「i/fのゆらぎ」のリズムになつておりリラックス効果を生み出すそうです。人の声にもこの効果が表れることがあるようで、歌手でいうと美空ひばりや宇多田ヒカル、徳永英明や松任谷由美などが当てはまるようです。言われてみると聴いていて癒されると思っただ方もいるのではないのでしょうか。
最近では雨音だけを流すCDや携帯アプリなども登場しています。雨音は自然のヒーリング音楽なんですね。
雨の楽しみ方を見つけると梅雨に対する考え方も少し変わって来ます。雨ばかりでも嫌ですが、笑時には仕事の手を休めて雨音を聞いてみるのもいいかもしれませんね。

潤 うるおい

No. 57

2014年 8月1日発行



一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団
潤和会記念病院
病院長 鶴田 和仁
〒880-2112 宮崎市大字小松1119番地
TEL0985-47-5555 FAX0985-47-8558
http://www.junwakai.com

アベノミクスに思う

消費税が来年10月に10%にするかどうか今年の景気を見て判断すると言う。今年の4月より5%から3%上がり8%になった。日銀総裁を白から黒に替えて、アベノミクスの金融緩和とやらで円安に傾き、あつという間に大企業の輸出を中心に増収増益で株価も上がり景気が上向いていると言う。私は経済学にはもちろんずぶの素人であるが、この変わりようには正直びっくりした。現在の経済学は勿論ITを駆使し何やら複雑な方程式を解き、分析しその結論にそって粛々と遂行されて、よほどの事が無い限り最善の事がなされていると思っていた。バブル以後のいわゆる「日本経済の低落20年」は円高、デフレなどと世界の経済学史上かつて経験しなかった状態と言われてきた。この状態から這い出すのは至難の業であり是というセオリーはないと聞いていた。いわば未知の世界に入り込み、出口の見つからない状態に落ち込んでいると聞いていた。

安部政権になりエール大学の浜田先生の言うように前記の如く金融緩和をしてみたら日本経済が活性化の兆しが見えてきた。

たぶん、前総理の野田さん始め歴代の総理は「なんだ!こんな簡単なことだったのか」と、思っているのではないだろうか。確かに、円も商品ならそれを多量に発行し市場にジャブジャブにすれば円の価値が下がり相対的にドルに比べ安くなり、また同時にインフレ傾向になるだろうと簡単に推測される。もちろん、玄人の経済学者、金融関係者におかれてはそんな簡単なことではないとお叱りを受けるだろう。けれども、現実はそのようにしたからそうなのである。何とも手品の種明かしを見たような気分になる。こんな事に20年も苦しんだのかと。安部さんは政権運営に当たり経済政策に浜田先生のアイデアを取り入れた事がポイントだったのだろう。どうしてそのようにしたかそこが知りたい。何故ならその政策の理論的説明に納得するようなら今まで施行されて当然と思われるからである。浜田先生をどうして安部さんは信用したか。そこが知りたい。私はそこに

代表理事 大野 和男



摂理を越えた何かがあったのでは、と勘繰るのである。

今まで歴代の内閣は景気浮揚策で公共事業中心に赤字国債を出しながらこれでもか、これでもかと繰り返して来た。少し良くなると海の向こうからリーマンショックとやらがやってきて、気が付いたら国民総貯蓄が1400兆で国債発行額、国の借金が1000兆に達している。国債の金利はまだ高くないので大丈夫と言っているけど危険水域に達しつつあることは確かだろう。

ともあれ、今までの経済政策の経緯をこの様に考えると、何という事はない、「何事もやってみなければ分からないもの。」という事だろうか。

記念病院 理念 「人間愛」

— 記念病院 基本方針 —

1. 患者様の人権と意思を尊重し、患者様の立場に立った医療の提供
2. 地域の中核的病院として、専門的且つ高度な医療を实践
3. チーム医療を推進し、より良い医療の希求
4. 豊かな人間性を備えた医療人の育成
5. 職員が意欲を持って働ける職場環境



ロコモティブシンドロームについて

運動器の障害のために移動機能が低下した状態を「ロコモティブシンドローム(略称:ロコモ)」といいます。

整形外科部長 吉 富 健

人間の身体は機能ごとに分業をしています。酸素を取り入れ二酸化炭素を排出する加「呼吸器」(気管や肺)、酸素や栄養や老廃物を運ぶ血液を流す「循環器」(心臓や血管)、食物を消化・吸収する「消化器」(胃や腸)などによくご存知だと思います。同じように人が身体を自由に動かすことが出来るのは、骨、関節、筋肉や神経で構成される「運動器」の働きによるものです。骨、関節、筋肉はそれぞれが連携して働いており、どれか一つが悪くても身体はうまく動きません。この「運動器」の病気(疾患)や怪我(外傷)を診療する科が整形外科になります。

近年TVやラジオなどで「健康寿命」という言葉を耳にする機会が増えていきます。これは「健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間」です。現在平均寿命は男性で79.55歳、女性は86.30歳です。それに対して健康寿命は男性で70.42歳、女性は73.62歳となります。その差は男性では約9年、女性では約12年にもなります。誰もが最後まで、健康でいきいきとした生活を送りたいと思っています。その健康寿命を守るためにはいったいどうしたらよいのでしょうか？

自立度の低下や寝たきり、つまり要支援・要介護状態は健康寿命最大の敵です。そしてその要因の第1位は「運動器の障害」なのです。

この運動器の障害のために移動機能(立つ・歩く・座る・走るなど、日常生活に必要な身体の移動に関わる機能)が低下した状態を「ロコモティブシンドローム(略称:ロコモ)」といいます。これは2007年に日本整形外科学会が人類が経験したことのない超高齢化社会・日本の未来を見据え、このロコモという概念を提唱しました。いつまでも自分の足で歩き続けていくために、ロコモを予防し、健康寿命を延ばしていくことが今、必要なのです。

そのためにまずは健康な状態である時からの予防が最も重要となります。普段から適度な運動習慣を身につけ、痩せ過ぎや肥満などにならないよう食生活を整えることが必要です。では、すでに運動器疾患を患っているもしくは症状がある方はどうしたらよいのでしょうか？

現在、ロコモについてご自身でチェックすることのできるロコチェックと呼ばれる問診票がインターネットなどで簡単に閲覧することが出来ます。自分がロコモかなと思ったらまずは整形外科を受診してください。整形外科ではあなたのロコモの原因やその疾患を検索し、あなたに合った適切な治療やリハビリを提供することが出来ます。

こんな症状、思い当たりませんか？

7つのロコチェック

- 1  □片脚立ちで靴下がはけない
- 2  □家の中でつまずいたりすべったりする
- 3  □階段を上がるのに手すりが必要である
- 4  □家のやや重い仕事が困難である
- 5  □2kg程度の買物をして持ち帰るのが困難である ※1リットルの牛乳バック2個程度
- 6  □15分くらい続けて歩くことができない
- 7  □横断歩道を青信号で渡りきれない

健康な状態から要支援・要介護に至るまで、移動機能はひそかに衰えていきます。少しずつ進行する移動機能の低下に気づかないふりをしていませんか？



他にも整形外科では、日本における有訴率第1位(男性では1位、女性では2位)の腰痛や第2位(男性では2位、女性では1位)の肩こり、第4位(男性では5位、女性では3位)の四肢関節痛なども整形外科疾患が原因であることの多い症状です。しかしその原因は多岐にわたり、放置すればどれも重症化する可能性もある症状です。「ただの腰痛症だ。」などと考えず、一度整形外科を受診し、専門医の診察を受け適切な治療を受けてください。

多岐にわたる整形外科疾患を有する患者さんが不安を感じながら病氣と闘うのではなく、病氣そして治療について正しく理解し納得していただいた上で治療に取り組めるようスタッフ一同心がけております。皆様のご来院をお待ちしております。

リハビリテーション療法部の最近の話題

昨年導入されましたリハビリテーションに関する機器を二つご紹介します

■自動車運転シミュレーターについて

脳卒中や脳外傷のような脳の障害によって車の運転に必要な手足の運動機能の低下だけでなく、運転に必要な高次脳機能障害(注意・集中力・記憶力・判断等の低下)をきたす事があります。

作業療法では安全に車を運転する為に必要な動作や高次脳機能面の評価・練習を行います。紙面上の検査だけでは不十分な点があります。実際の運転に近い状況を体験できる装置として自動車運転シミュレーターがあります。当院リハビリテーション療法部では昨年よりこの自動車運転シミュレーター「Hondaセーフティナビ」を導入し自動車運転再開に必要な能力の評価を行っています。

自動車運転シミュレーターは、パソコンで実車により近づいた画面構成で気楽に運転を体験することができ、自分の運転に潜む危険を知ることができます。以下のようなことができます。



- ・認知・判断に対する適応性
- ・アクセル・ブレーキ操作の反応速度
- ・体験結果データ化による比較
- ・市街地コースを模擬した危険予知訓練
- ・リプレイ機能による危険箇所の再確認ができる

安全な運転で在宅または社会生活を送れることをリハビリテーションスタッフが支援しています。自動車シミュレーターは運転再開の許可を出すものではありません。最終的に運転の可否は運転免許センターに相談されることをおすすめします。

■機能的電気刺激装置「ウォークエイド®」

ウォークエイドは、歩行に合わせて腓骨神経を電気刺激する事でつま先を上げる事を補助し、脳卒中・脊髄損傷などの中枢神経障害による下垂足の患者さんの歩行を改善する歩行神経筋電気刺激装置です。

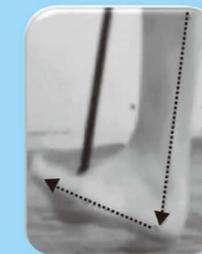
当院では平成25年4月から導入し主に脳卒中に対し使用しています。この機器を使用する事により、歩行速度や足関節自動運動可動域の改善が得られています。今後、その効果を証明するために全国の施設と共同研究を行う予定です。興味のある方は、リハビリテーション療法部 理学療法士 まで御声掛け下さい。



ウォークエイド®



ウォークエイド® 使用前



ウォークエイド® 使用中

